

江刺地域の未来を考える まちづくりワークショップ

第1回
ニュースレター



第1回ワークショップ開催概要

「江刺のよい/好きなところ」、「江刺の課題」をテーマに、一人一人がチーム内でアイデアを出し合い、最後は各班の意見を全体に発表し、お互いの考えを共有しました！

～会場全体の様子～

【日時】令和6年10月22日(火) 19:00～21:00 【会場】江刺総合支所会議室 【参加者】14名



Q. そもそも、何のためにまちづくりワークショップをしているの？

A. 企業誘致の成果により、今後工業団地内を含む市内企業に1,400人あまりの働き手が増える見通しです。昨年11月に公表された「奥州市未来羅針盤図」は、この機会を活かし、地域住民・行政・民間企業が一体となって、まちづくりに取り組むことを目指しており、ワークショップは地域の声をまちづくりに活かすためのものです。

～グループワーク取り組みの様子～



ワーク①：現在の江刺のよい/好きなところを考える



ワーク②：現在の江刺の課題を考える



③お互いのチームの検討結果を発表し、アイデアを共有する



第1回ワークショップの結果概要

参加者の皆様からは、江刺の魅力と課題に関する様々なご意見やアイデアをいただきました。以下に、主なご意見を事務局側でまとめました。

ワーク① 現在の江刺のよい/好きなおところ

美味しい食材

りんご、米、牛、野菜、農作物、ふるさと市場、パン、卵めん、ようかん

歴史・文化

江刺甚句まつり、えさし藤原の郷、鹿踊り、蔵まち、厄年連、郷土文化館、明治記念館

活発・魅力的な地域コミュニティ

つながり・団結力の強さ顔なじみ、子どもが元気地域密着型、多趣味、多様性、あたたかい人、アツイ人、自分の地区を良くしようとしている

充実した施設

公園、体育館、ジム、星座の森キャンプ場、保育施設、スポーツ施設

豊かな自然

自然、星空、田舎風景、空気、夢の架け橋、シカ、動物、山、溪流

利便性の高さ

まとまっている（病院・公園・飲食店・ドラッグストア、公的な施設）

安全・安心な環境

治安がいい、静か、ゆっくり散歩できる

その他

農業体験ができる、パチンコ店がない、チェーン店がなく子供が添加物をとらない、祭り・商店街のイベント、ごみ拾いの徹底、図書館がキレイ、カルチャパーク、岩谷堂筆筒、工業団地

ワーク② 現在の江刺の課題

商業・娯楽・レジャー施設の不足

温浴施設、プール、ファミレス、カラオケ、映画館、飲食店、チェーン店、雨の日や冬に遊べる屋内施設、家族/若者が遊べる施設

交通の便が悪い

電車の不足、駐車場の不足、バス・タクシー・運転代行の不足、公共交通手段の不足、工業団地ー市街地(自宅)間の渋滞

出産・子育て環境の不足

子供の遊ぶ場所（子育て施設）の不足、産婦人科の不足、子どもが勉強できる場所がない（図書館とは対照的）、市からの子供手当がない

高齢化・過疎化の進行

老人の1人暮らし、若者の都市への流動、若者が少なく、農家や鹿踊り等担い手不足、閉館・閉店が多い

文化・スポーツ・音楽イベントの運営体制及び施設整備が不十分

ホール・文化施設が不足、鹿踊りの天井の高さ問題、陸上競技場がない、グラウンドが小さい、防音施設が不足、甚句まつりの集客・宣伝方法、産業祭りの在り方、藤原の郷を活用しダンス・フェスイベント誘致

宿泊施設の不足

ホテル・宿泊施設・病院が不足/足りなくなる

その他

空き店舗の多さ、広さに対し集落が多く非効率、街路灯・歩道・公園・道路・Wi-Fiの不足、通学路の環境整備、家賃など生活コストが高い、個人店の情報発信不足、市のPR不足、移住者の住民登録が少ない、要望の通りにくさ、外国人住民の対応、集まる場所の不足、働き口が少ない



第2回ワークショップに向けて

第1回ワークショップで得られた意見やアイデアを踏まえながら、第2回では、10年後の江刺の「理想の姿」、**「望まない姿」**などについて、引き続き皆様と議論させていただきながらワークショップを進めていきます。

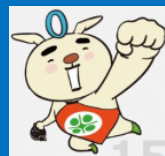
【主催・問合せ】 奥州市 政策企画部 未来羅針盤課 羅針盤プロジェクト室（千田）

TEL : 0197-24-2111（内線1426） E-mail : project@city.oshu.iwate.jp

江刺地域の未来を考える

第2回
ニュースレター

まちづくりワークショップ



第2回ワークショップ開催概要

第2回まちづくりワークショップでは、以下の3つのテーマについて参加者の皆様と検討しました！

- ① 10年後の江刺がどうなっていてほしいか
- ② 10年後の江刺の不安なところはどこか
- ③ 10年後の江刺で誰がどんなことをしていてほしいか

全6グループ、総勢24名(うち市職員4名)で3つのテーマについてアイデアを出していただき、最後は各グループの意見を自由に見て回り、お互いの考えを共有しました！

～会場全体の様子～

【日時】 令和6年11月5日(火) 19:00～21:00 【会場】 江刺総合支所会議室 【参加者】 20名



～グループワーク取り組みの様子～



ワーク①：10年後の江刺がどうなっていてほしいかを考える



ワーク②：10年後の江刺の不安なところはどこか
(どうなってほしくないか) を考える



ワーク③：10年後の江刺で誰がどんなことをしていてほしいかを考える



④：会場内を自由に見て回り、お互いのチームの検討結果を共有する



第2回ワークショップ結果概要

①10年後の江刺がどうなっていてほしいか、②不安なところはどこか、③誰がどんなことをしていてほしいかの3つについて、**合計368件**の様々なアイデアをいただきました。以下に、主なご意見を事務局側でまとめました。

ワーク① 10年後の江刺がどうなっていてほしいか

●求める施設・インフラ・交通機関が整備されている

理想

- ・商業・娯楽・レジャー施設 ・出産、子育て支援施設 ・宿泊施設 ・高齢化に対応した施設
- ・地域住民の歴史・文化・芸術活動を支える施設 ・広く市民に利用される公共施設 ・ビジネス環境が整った施設
- ・必要なインフラ環境の整備 ・利便性の高い交通機関が整備

●安心・安全な環境で、すべての人が快適で豊かな暮らしを送っている

- ・子育て環境や学生の学習環境が充実し、若い世代が暮らしやすいまちとなり、地域に子どもや若者が増え、賑わっている
- ・移住・定住したくなるような魅力的なまちとなり、人口が増加している
- ・伝統的な祭りが益々発展、新たに地域の目玉となる催し物が生まれている
- ・外国人住民にとっても住みやすく、地域住民との交流が活発に行われている
- ・さまざまな移動手段の確保や適切な交通管理運営により、渋滞緩和策が施され、快適な交通環境が実現している

●地域資源の有効活用により地場・観光産業、新たな産業が栄え、女性や若者などが地元で働ける環境ができています

- ・女性や若者がやりたい仕事を選べ、起業にも挑戦できる環境ができています
- ・江刺の魅力が国内外に発信され、適切なインバウンド対応により観光スポットで多くの観光客が賑わっている
- ・江刺の食・農作物の更なる魅力向上で生産量が高まるとともに、若者など農業への新規参入者が増え、地場産業が活性化している

ワーク② 10年後の江刺の不安なところはどこか（どうなってほしくないか）

●生活や産業に必要な施設が無くなり、空き家が増えている

不安

- ・空き家、空き店舗、アパートの空室が増えている

●少子高齢化等による人口減少や外国人住民の増加により、様々な社会問題が発生している

- ・街の活気の喪失、伝統的な文化・祭り・地域コミュニティの衰退、交通・治安問題、多文化共生問題

ワーク③ 10年後の江刺で誰がどんなことをしていてほしいか（※「○○が△△してほしい」という書き方）

●文化に関わる活動、イベント、地域の交流・まちづくり活動をしたい

ありがたい姿

- ・すべての住民が郷土芸能に親しみ、地域の伝統文化を発信してほしい
- ・すべての住民が地域の人と交流し、イベントの開催や参加をしてほしい

●出産や子育てをしやすきたい

- ・子どもや子供連れが、天候に関わらず遊び、学べる施設に行ってほしい
- ・妊婦が、江刺で安心して出産してほしい

●商業やレジャーを充実させたい

- ・住民や観光客が、旧市街地や新たな施設で買い物や食事、娯楽を楽しんでおり、そこで農家など地元の方がお店をしてほしい

●スポーツに打ち込めるまちにしたい

- ・子どもが本格的にスポーツに打ちこめるとともに、全世代で健康維持や娯楽としてスポーツに取り組んでほしい

●観光客が江刺を満喫できるようにしたい

- ・仕事や観光で江刺を訪れた人が、食や自然など江刺の魅力を満喫し、宿泊してほしい

●子どもや若者が生き生きと過ごせるようにしたい

- ・子どもや若者が自分の夢を見つけたり、能力を発揮してほしい
- ・若者が恋愛・結婚してほしい

●その他

- ・江刺のあらゆる人、企業が地元経済の活性化に資するビジネス活動をしてほしい
- ・生産者や技術者の事業が発展し、次世代に継承してほしい
- ・仕事で移住してきた人の定住化、地元へのUターン、江刺で働く人の江刺への居住が実現してほしい
- ・高齢者が必要なサービスを受け、生きがいをもって社会参加してほしい



第3回ワークショップに向けて

第2回ワークショップで得られた意見を踏まえて、次回は**私自身は10年後の江刺のまちでどのようなことをしていたいか、10年後どのようなまちになっていれば住んでいたいかなど**を考え、そのためには、**どのような「場」が必要となるのか**について、引き続き皆様と議論を進めていきたいと思います。

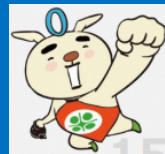
【主催・問合せ】 奥州市 政策企画部 未来羅針盤課 羅針盤プロジェクト室（千田）

TEL：0197-24-2111（内線1426） E-mail：project@city.oshu.iwate.jp

江刺地域の未来を考える

第3回
ニュースレター

まちづくりワークショップ



第3回ワークショップ開催概要

第3回まちづくりワークショップでは、以下の2つのテーマについて参加者の皆様と検討しました！

- ① 10年後の江刺の「ありたい姿」を実現するためには、どのような場が必要か
 - ② 10年後の江刺で自分自身（もしくは想像しやすい主人公）がどのような暮らしをしていたいか
- 全6グループ、総勢18名（うち市職員4名）で2つのテーマについてアイデアを出していただき、最後は各グループの意見を自由に見て回り、お互いの考えを共有しました！

～会場全体の様子～

【日時】令和6年11月26日(火) 19:00～21:00 【会場】江刺総合支所会議室 【参加者】14名



～グループワーク取り組みの様子～



ワーク①：10年後の江刺の「ありたい姿」を実現するためにはどのような場が必要か

ワーク②：10年後の江刺で自分自身（もしくは想像しやすい主人公）がどのような暮らしをしていたいか



③：会場内を自由に見て回り、お互いのチームの検討結果を共有する

④：グループ内で他の班のアイデアや本日の感想を共有し合う



第3回ワークショップ結果概要

①前回ワークで検討した「10年後の江刺のありたい姿」の実現にはどのような場が必要か、②10年後の江刺で自分がどのような暮らしをしたいか、について**合計204件**のアイデアがあり、主なご意見を事務局側で以下にまとめました。

ワーク① 10年後の江刺の「ありたい姿」を実現するためには、どのような場が必要か。

※前回検討した「ありたい姿」と今回検討した「必要な場」を以下のように整理することができます。

【ありたい姿】※前回ワークで検討

●老若男女・転入者含めすべての住民が文化に親しみ、地域の伝統文化を発信してほしい
●老若男女・転入者・外国人含めすべての住民が地域の人と交流し、イベントの開催や参加を希望している

●子供や子連れ家族が天候に関わらずたくさん遊び、学んでほしい
●妊婦が、江刺で安心して出産希望している

●住民や観光客が、旧市街地や新たな施設で買い物や食事、娯楽を楽しんでおり、そこで農家など地元の方がお店を希望している

●仕事や観光で来た人が江刺の魅力を満喫し、宿泊希望している

●子供が本格的にスポーツに打ちこめ、各世代で健康維持や娯楽としてスポーツに取り組んでほしい

【必要な場】※今回ワークで検討

●老若男女・外国人など様々な人が気軽に訪れ交流し、新たな出会いや発見・学びを得る場
●学生が公園やカフェスペースで勉強したり遊んだり、家族連れやお年寄りが仲間同士でカフェでくつろいだりできる場所
●歌、バンド演奏、ダンスなどの屋内/屋外イベントが開催できたり、様々なエンターテインメントの鑑賞ができたりする場
●郷土芸能や甚句まつり・町内屋台を練習・披露したり、鑑賞したりできる場
●市民団体や市民ひとりひとりが文化活動に取り組んだり、活動の成果を発表したりできる場

●福祉や子育てについていつでも相談でき、保育園や幼稚園のように子どもが預けられ子育てを支援する場
●天候、季節問わずに幼児や未就学児が屋内で遊べる場・天候に関係なく、子どもが遊べる屋外の屋根付きの場所
●家族向けの室内アミューズメントパーク ●産婦人科(妊婦が安心して出産できる場)

●地元の特産品や農作物、多国籍の食が揃うマルシェのような場
●老若男女問わず地元住民や観光客が外食で利用しやすい飲食店
●新たに飲食店やカフェなどの開業を目指す事業者がチャレンジショップを活用できる場
●全国チェーン店(ケンタッキ、タリーズ、丸亀製麺など)やフードコートが集う場
●プール・温泉・サウナ・入浴施設等のレジャー機能や、エンタメ・アミューズメント機能が揃う場

●観光客、ビジネス客、団体客など利用客の利用用途に対応した宿泊環境が整った場
●コワーキング&レンタルスペース(出張やワーケーションなどに対応した場)

●屋内外の運動施設に大人向けの遊具やお年寄り用の体作りの器具が設置されており、各世代が健康維持や娯楽として運動、スポーツを楽しめる場(クライミング、フットサル、バスケット、人工芝の広場、スケボー、ドックラン、オープンカフェ)

ワーク② 10年後の江刺で自分自身(もしくは想像しやすい主人公)がどのような暮らしをしたいか。

【誰と】 【どのような暮らしをしたいか】

友人、家族、ひとり	カフェで談笑したり読書を楽しんでいる／休日はカフェでリラックスしながらパソコン作業をしている 部活終わりに友達と集まっておしゃべりしたり、勉強しながら親の迎えを待っている 子どもを公園や子育て施設で遊ばせながら、コーヒーを飲んで過ごしている
友人、家族、子供、孫	軽スポーツなど体を動かしている／休日に部活・趣味の練習をして体を動かしている 孫と芝生の公園でボール遊びをしたり、雨の日にも屋根付きの公園や屋内公園で子どもや孫を遊ばせている カフェやキッチンカーで飲食を購入し、レジャーシートを広げてくつろいでいる
子供、孫、パートナー、市民団体メンバー、若者、家族	コンサートや演劇を楽しんでいる／甚句まつりに参加している／ダンス練習(外・内問わず)をしている 週末は江刺に新しく出来た施設で英語を教えたり、家族と過ごしている 子供が放課後に、新しい施設のダンススクールでダンスを習っている ヒャクシカイザー委員の人達と、ショーなどの打ち合わせをしている／週末は孫を連れて屋内遊戯施設で遊んでいる 次世代の若者のサポートをしている／週末は市街地で行われるイベントに妻と参加し楽しんでいる 天気が悪い日に子供を屋内施設で遊ばせながら、趣味の活動をしている
友人、家族、パートナー、仕事仲間、同僚	雨の日は屋内で買い物や食事をしている／たまには実家に子供を預けて夫婦で飲みに行っている 休みの日に、家族、友人、知人と外出し、「江刺だから出来る又は体験できること」をインスタetc.で発信 週末に家族や友達と外食、昼夜問わず、食べ歩き・飲み歩きしている／同僚・友人と飲み会をしている 仕事帰りに同僚とアジア系の料理や欧米系の料理が食べれるレストランで食事をしている
自分ひとり	江刺で地元の食材を購入している／江刺のイベント時には、出店して自分の店の商品をふるまっている。
ひとり、家族、友人	週末の仕事終わりに、一人で近くの温浴施設で体を休めている 仕事終わりに家族で、飲食店や入浴施設へ行っている／友達と休みの日にレジャー施設などを利用している
ひとり、友人	江刺で飲み会をして江刺のホテルに宿泊している



今後の江刺市街地開発プロジェクトについて

ワークショップでのご意見も踏まえ、今年度は計画の構想策定、次年度は具体的な計画策定へと進んでいきます。今後も計画の進捗状況について市のHP等を通じてお知らせします。計3回に亘って開催されたワークショップに参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。

【主催・問合せ】 奥州市 政策企画部 未来羅針盤課 羅針盤プロジェクト室(千田)
TEL: 0197-24-2111(内線1426) E-mail: project@city.oshu.iwate.jp